

OPEN HOUSE

完成見学会

ソーシャルディスタンス
ご予約制です。

2021 7/10 Sat 11 San

(千葉県 木更津市) 10:00~17:00

家づくり相談でプレゼント!!

もれなく映画ペアチケット

抽選でペア宿泊券

お子様はお菓子の
つかみどり



この家から広い世界を見つめてほしい
そして勇気をもって未知なる世界に飛び出してほしい
そんな子育てのビジョンを持ったA様のお家。
是非、ご見学にお越しください。
二日間のオープンです。



「無添加住宅漆喰」で
ウイルス100%死滅。

オリジナル

風水思想

(そったく)
子供部屋の
啐啄の学び家

「世界に羽ばたく子供を 育てる家」

※啐啄の学び家とは、「啐」はひなが卵の殻を破って出ようとして鳴く声、「啄」は母鳥が殻をつつき割る音のこと。
「教えるものと学ぶ者の、そのタイミングを決して間違わない、絶妙の機を逃さない、空間づくりの家を「啐啄の学び家」。

森の住宅総合展示場

もくもく村

無添加のよさ、伝えたい。

きりんホーム

■本社 / 千葉県君津市山滝野130-3
■横浜営業所 / 神奈川県横浜市磯子区栗木2-5-68
もくもく村 TEL:0439-50-7066 FAX:0439-50-7133

きりんホーム

検索

ご予約はフリーダイヤルで

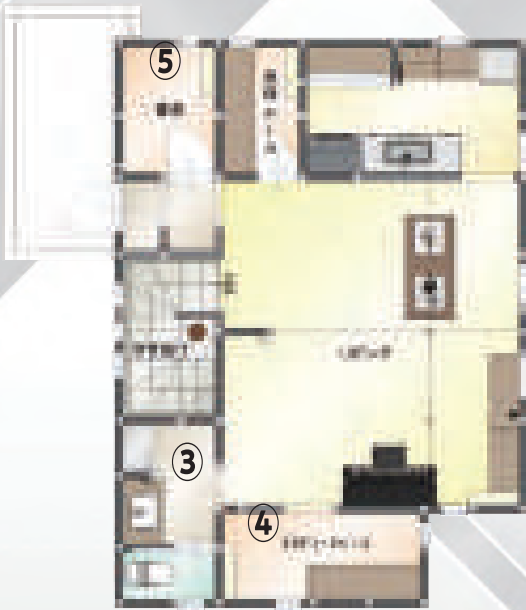
0120-512-515



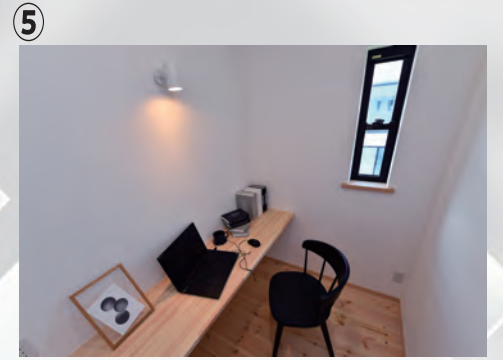


外構はまだ未施工です。

バルコニーから花火が見えるかも…



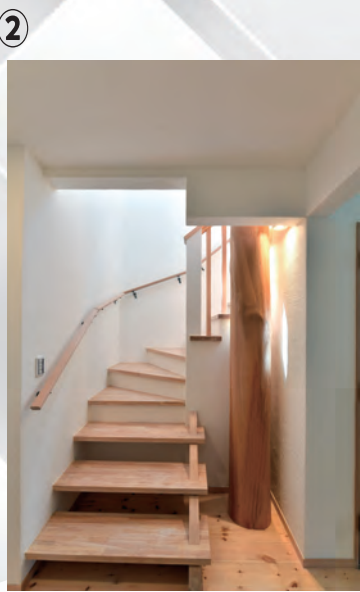
DATA	〇一階工事面積	58.52㎡
	〇二階工事面積	57.96㎡
37.4坪	〇延べ工事面積	116.48㎡
	〇ポーチ	7.15㎡
	合計面積	123.63㎡



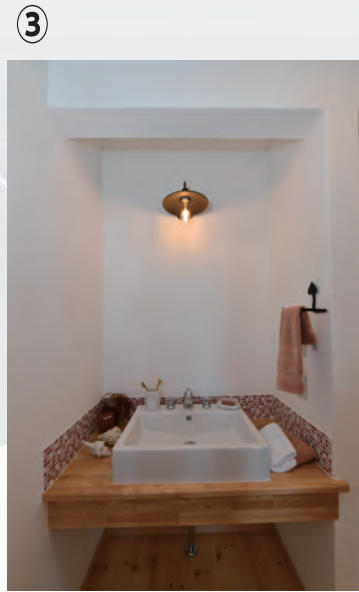
ご主人様の書斎



漆喰の質感・陰影の美



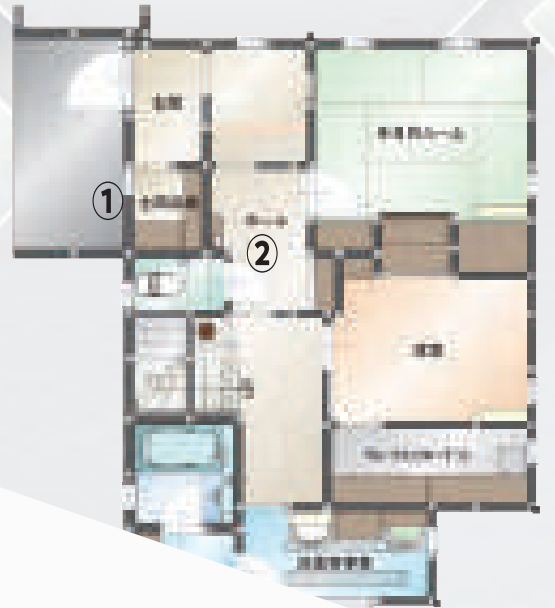
御柱の迫力とエネルギー



レトロでおしゃれな洗面所



家族の見守りの中の勉強場



A様と初めてお会いしたのは、昨年7月の見学会のときでしたね。その頃はもうお家を建てたいと考えておられたのですか？

奥様

いいえ、まったく。二人の子どもたちをつれて主人と一緒に完成見学会に行ったのですが、その時点では「見たらすぐに帰ろう」と思っていました。ところが、子どもたちが「どこか遊ぶところへ行きた〜い」と駄々をこね始めて…。 そしたら、見学会の案内してもらった 男性スタッフの方が「それなら、もくもく村へ行ってごらん。大きなトランポリンがあるからきっと楽しいよ」と。それで初めてもくもく村を訪ねてみたというのが経緯です。

もしトランポリンがなかったら、A様とのご縁もなかったわけですから、トランポリンさまさまですね。

奥様

ほんとにそうですよ(笑)。もくもく村では、Y専務とK課長のお二人にモデルハウスを案内していただきました。そのときに、「失敗しない家づくり塾」の受講を勧められて、受けることにしました。

それでお家を建てるきっかけができたわけですか。

奥様

まだ、まだ(笑)。家のことを真剣に考え始めたのは、土地の購入を決めてからです。家づくり塾で、「家も大事だけど、土地が一番大切」と教えてもらっていたこともあって、風水のよさそうな土地をいくつか推薦してもらいました。で、塾の先生も交えて実際に 見てもらったところ、木更津市内に気に入った土地が見つかりました。

家づくりが本格的になってきて、ご主人様は何か不安に感じることはありませんでしたか？

ご主人様

購入予算など、経済的なことはもちろん懸念材料でしたけど、いちばん心配したのは子どもの学区のことでした。新しく建てる家に移ったら、子どもたちが転校しなければならないと覚悟していたのですが、いま同居している両親の元から通学する形をとれば学区が変わらずにすむということがわかって、ほっとしました。

これからお家を建てようと考えておられる方に何かアドバイスがあれば…。

奥様

ぜひとも、「自分が居たくなる家」に住んでほしいと思います。私たちは、今から10年ほど前に、完成したばかりの、セミオーダーの建て売り住宅を購入したことがあります。普通なら新しい家に心が弾むのですが、どういうわけか、この家には居たくないという気持ちに襲われてしまいました。ですから、主人が出勤したらすぐに、子どもを連れて、近所に住む両親の家に「避難」するような毎日でした家事をするのもイヤという気持ちでした。だから、キッチンほとんど使っていませんでした。結局、3年前にはきれいなままの状態がこの家を手放して、両親と同居することを選択しました。

ご両親様とは、また別世帯になられるわけですね。

奥様

私たちがまた家を建てることについて、両親は反対したりはしませんでした。あなたたちの考える通りにしなさいって。同居し始めた頃は、おばあちゃんが食事を作ってくれるからラクでいいわ、なんて思っていました。だけど、キッチンに女が二人立つっていうのは、なんとなくねえ(笑)。

7月からは、また新しい生活が始まることになります。健康で笑顔いっぱいの生活を送ってください。お二人様ありがとうございます。きっと、望みどおりの生活が実現できると信じています。



Aご家族様